

第2回 産業振興ビジョン策定委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和4年12月22日（木） 14時より

開催場所 産業文化センター4階 第2会議室

出席委員 富樫幸一委員、北角浩一委員、水野伸幸委員、林敏幸委員、竹田克茂委員、堀田みさ子委員、伊藤勝彦委員

欠席委員 山岸隼也委員

議題及び審議・協議結果等の概要

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議題（1） 「第1回 策定委員会のご意見と対応について」

事務局説明

第1回の委員会にてご説明した「産業振興ビジョン 後期アクションプラン（案）」に関して、前回資料からデータが更新された部分について説明。

前回、「人材確保」に関する課題が多く挙げられたため、市が行う人材確保に関する現在の取組を説明。

更に、ホームページを活用した人材確保に関する取組について、委員からの事例紹介内容を事務局から説明。

それらを踏まえた人材確保に関するアクションプラン（案）の修正内容について説明。

4. 質疑・意見交換

主な意見

委員長

事務局からの説明を受け、これから意見交換に進みたい。
人材確保に関しては、以前から課題として挙げられているが、なかなか改善されない状況にあり、やり方を変えていかないといけない部分がある。
ご意見あればご発言をお願いしたい。

委員

学生等の若い方は就職先を検討する中で、SNS等を見て「楽しいことをしている」という企業に関心が集まるのではないか。
学生がどこから企業の情報を入手しているかを考えると、学生に伝わる SNS や、SNS から繋がる企業のホームページになるのではないか。

委員長

学生もアルバイトやインターンシップ等の形で色々な会社で仕事をしている。長い時間をかけて、会社に入り、社員と話をすることで、どういった仕事をしているかをよく理解できる。
企業見学だけでは分からない部分もよく知ることが出来る。

委員	<p>少子高齢化が進んでいるが、それだけが理由で人材不足が続いているわけではないと思う。</p> <p>少子高齢化の状況であっても、企業が自社の規模を維持しようとしていることも一つの要因として考えられる。</p> <p>また、若い人材は非正規雇用が当たり前になってきており、正社員として働く意欲が下がっていることも考えられる。</p>
委員	<p>若い方は給料が半分になったとしても、週休3日の企業の方が良い。仕事以外に自分のために時間を使うという考えも増えてきている。</p>
委員	<p>大学とも連携して企業見学を実施しているが、学生の参加意欲も様々。</p>
委員	<p>工業高校等と連携して企業見学を実施しており、会員企業ではインターンシップの受入れも行っているが、結果的にはなかなか採用に繋がらない。</p> <p>大手企業と中小企業の間で条件の差があり、中小企業側の採用に繋がらない部分も考えられる。</p> <p>事務局から紹介があったように、ホームページ等で会社の雰囲気などを伝えていけるようにしなければならない。</p> <p>人材育成の観点においては、中小企業における技術の伝承を進めていく必要があるが、教える側の人材も余裕があるわけではないため、大手企業と比べて、十分な教育ができるわけではない。</p> <p>中小企業であっても、またコロナ禍においても、技術の伝承や教育に積極的に取り組んでいる企業もいるため、それらを発信していかないと、人材不足を解消できないのではないか。</p>
委員	<p>学生の保護者に企業見学会へ一緒に来てもらい、共感してもらおうと良いのではないか。</p>
委員	<p>親の介護を理由に退職される方も多い。親との繋がりが以前に比べ強くなってきている。</p>
委員長	<p>各務原で仕事して、暮らして、シティプロモーションも繋げて、街全体で取り組む必要がある。</p> <p>産業振興ビジョンだけで人材確保に取り組んだとしても、人が集まらない。</p> <p>総合計画や他の分野も含めて、一体となって取り組む必要がある。</p>
委員	<p>BtoB の企業も学生に対し、自社の仕事をいかに分かりやすく伝えることが重要。</p> <p>自社が製造している製品を対外的に見せることが出来るようになれば、より伝わりやすくなる。</p>
委員	<p>企業が自社で製造している製品を見せることは、企業秘密の部分があるため、難しいところはあるが、見せていくことは重要。</p>

委員	農業においても全国的に見れば、若い人材が増えてきている。 SNS や YouTube 等で発信しているところには人が集まっている。
----	--

5. 議題（２） 「産業振興ビジョン後期間の目標設定（案）について」

事務局説明
後期間の目標設定（案）について資料により説明。

6. 質疑・意見交換

主な意見	
委員長	事務局からの目標設定に関する説明を受け、まずは人材育成の分野から意見を伺っていききたい。
委員	各企業としても従業員に研修を受けさせたいという思いはあるが、今は仕事量も増えている中で人材が足りなくなっている状況。
委員長	製造業の製造品出荷額等の目標についてはどうか。
委員	今は電力高騰の影響が非常に大きく、取引先が価格転嫁をすべて受け入れてくれれば良いが、そうなるとも限らない。 また、自動車産業においては半導体不足の影響で生産調整がまだ続いている。さらに、コロナ発生以降に借りた融資についても、金融機関への返済が必要になってくる。 そのため、現状のままではなかなか厳しい状況にあるのではないか。
委員長	農業やサービス業の目標についてはどうか。
委員	農業については、価格を上げるとなかなか売れないという状況もあり、価格転嫁は難しい。 さらに、急激に資材や肥料の価格が上がっており、課題となっている。
委員	法人向け、個人向け問わず、価格を上げざるを得ない。 従業員に対して、給与を出せることを継続していくには、利益を生まなくてはならない。

7. 議題（３）「今後のスケジュール及びパブリックコメントの実施について」

事務局説明
パブリックコメントの実施時期及び第３回産業振興ビジョン策定委員会のスケジュールについて説明。

8. 質疑・意見交換

主な意見	
委員	パブリックコメントについても、多くの方から意見を集める必要がある。 SNS 等を活用した発信を行い、多くの方に見てもらうことが重要。
事務局	本日出された意見の反映や、今後公表予定の統計データの反映について、委員長に一任することを賛成多数により諮った。

9. 閉会